

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-04-14
事務事業名	長寿御祝事業		
事業開始年度	平成15年度 平成16年度		
大項目	基本目標	問合せ先	担当課(室) 介護福祉課
中項目	基本施策	職・氏名	高齢者福祉係長・春名美郎
小項目	施策	電話	64-1827

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	100歳の市民 年度内に75歳以上となる市民
目的(何のために)	長寿祝金：高齢者に対し祝金を支給して敬老の意を表し、その福祉を増進する。 高齢者ふれあい事業：高齢者同士や近隣住民等とのふれあいのために町内会等が実施する敬老会等の行事に要する経費に対して、補助金を交付することにより、高齢者の心身の健康増進を図る。
行政活動(どのような方法で)	祝金を支給する。 町内会等が実施する敬老会等に補助金を交付する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市内の高齢者宅を慰問することにより、長寿を祝うとともに、敬老精神の向上を図る。 地域でともに支えあいながら敬老の意を表し、高齢者の福祉の増進を図る。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	長寿祝金対象者		人	11	6	6
	高齢者ふれあい事業対象者		人	5,711	5,907	6,135
	直接事業費		千円	16,162	15,151	15,672
	人件費		千円	5,955	3,960	1,786
	事業費計			22,117	19,111	17,458
	国県支出金					
	受益者負担					
	市一般財源		千円	22,117	19,111	17,458
	必要人員		人	0.65	0.45	0.21
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	敬老祝金対象者		説明			
	結果指標量	人		11	6	6
	対前年比	%		-	54.5%	100.0%
	活動コスト	円		1,145,000	740,000	557,000
	単位当たりコスト	円		104,091	123,333	92,833
	高齢者ふれあい事業対象者		説明			
	結果指標量	人		5,711	5,907	6,135
	対前年比	%		-	103.4%	103.9%
	活動コスト	円		20,972,000	18,371,000	16,901,000
単位当たりコスト	円		3,672	3,110	2,755	

事業の成果			
成果指標名	高齢者ふれあい事業75歳以上参加率	式又は説明	高齢者ふれあい事業対象者/75歳以上参加者
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	42	42	49
対前年比	100.0%	100.0%	116.67%
到達目標値	50	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)			
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識			
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	敬老事業は、市主催で行っていたが、年々参加者が減少していたこと、支持母体の婦人会の解散等により、平成12年度に見直しを行い、町内会等が主体の事業としている。催物の実施を推奨しているが、さらに、実施方法の検討をしながら継続する必要がある。			
	行政活動			<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	
事業の意図する成果				<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	
	市民ニーズ			<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
市の関与				<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
	コスト			<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A-E>
手				<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識
	職			<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	自治連絡協議会で事業説明を行ったり、各町内会等で事業が浸透してきており、コストが削減された。なお、人件費及び人員の減については、業務量の実数によるものである。
目的達成度				<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性			<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度		<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			
	有効性の評価		有効性評価<A-E>	C	
		課題認識			
		地域で祝うことにより、地域交流の促進につながるが、老人福祉法にある敬老の意を表するものとして有効かどうかは疑問である。			

平成20年度の状況		説明	平成20年度で補助金を一人2,500円から2,000円とし、事業を継続している。また、記念品配布のみの事業ではなく、高齢者同士や近隣住民とふれあえる行事の実施を推奨している。					
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>結果指標量</th> <th>結果指標量</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>50</td> </tr> </table>	目標値	結果指標量	結果指標量		
目標値	結果指標量	結果指標量						
		50						
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している							
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了							
<input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している								

総合評価		評価区分<A-E>	C
敬老精神の向上を図り、高齢者の福祉の増進を図るため、最小限の範囲で、敬老・慰問を続ける必要がある。また高齢者ふれあい事業は町内会等の自主的な活動として定着しており、地域の一体感を高める意味でも継続が妥当と思われる。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果